

— “感動” が人をつくる —
Culture
Niigata

Culture Niigata

2016.09-11
vol.88

【平成28年8月25日発行】発行・編集／(公財)新潟県文化振興財団 編集・制作／関東東朝日広告社 デザイン／(株)アドテクソリューションズ 印刷／昭栄印刷(株)



わたしを元気にしてくれるもの、
ひとつ増えました。



JAマイカーローン

耕そう、大地と地域の未来。



新潟市中央区東中通一番町189番地3 TEL 025-230-2121(代) URL <http://shinren.jabank-niigata.or.jp>



NEXT STAGE

— 情熱の行方 —
俳優 相馬杏奈

親子で楽しもう

新潟イベント情報

— シリーズ —
URAKATA

NEXT STAGE

—情熱の行方—

これからの舞台芸術を担う、新潟ゆかりのアーティストを紹介する「NEXT STAGE」今回は、新潟市出身の相馬杏奈さん。小さい頃から憧れていた劇団四季に身を置き、俳優として活躍する彼女にこれまでの歩みと今の思いを伺った。

俳優

相馬杏奈 Anna Soma

10歳のとき、新潟で劇団四季の『夢から醒めた夢』を観たあまりに感動し、ふわふわした気分になりました

—バレエは4歳から始めていたそうですが。

そうなんです。物心ついた頃、自分からやりたいと言ったのですが、両親は「4歳になるまでダメ」と。でも、あきらめず4歳の誕生日に「今日だよね!」と言って習わせてもらいました。どちらかと言えば、引っ込み思案で内気な子どもだったのですが、反面、目立ちたがり屋のところがあって。それでバレエをやりたいと思ったのだと思います。当時から併行してピアノも習っていました。踊ることは大好きだったのですが、音大を受験するため、中学の途中でバレエを辞めました。そこから音大に入るまでは、基本的にピアノ中心の生活でした。

—劇団四季との出会いは？

母がお芝居やミュージカル、バレエを観るのが大好きで、幼い頃から何かしら新潟公演があるたびに、観に連れていってもらっていました。そんな中、劇団四季を意識したのは10歳のとき、『夢から醒めた夢』を

観たんです。主人公が同世代の女の子という設定だったこともあり、すごく感情移入でき、曲も自然に体に浸透していく感覚があって、「ああ、これこそが本物のミュージカルなんだ」と子どもながらに思ったんです。それまでもミュージカルはいろいろ観ていたのですが、あんなに感動したのは初めて。ふわふわした気分が家に帰ったのを覚えています。ただ、ミュージカルはどこか「観るもの」と思っていると、結局はピアノでプロになるための進路を選びました。



8歳の頃 バレエ発表会

—音大へ進学されて以降、その意識が変わったのはいつぐらいから？

本気で劇団四季でミュージカルがやりたいと思ったのは、大学生の頃です。特に入団後はダンスを主軸とした俳優になったかったので、卒業と同時にジャズやタップダンスのレッスンを始めました。最終目標は劇団四季でしたが、他にもいろんなミュージカルのオーディションを受け、実際、いくつかのミュージカルにも出演しました。

劇団四季の稽古場は刺激に満ちている

—そして、2010年10月のオーディションで劇団四季に入団！

嬉しかったです。すぐ新潟の両親に報告しました。案の定、ものすごく喜んでくれて、それもまた嬉しかったです。それまでも何度か四季のオーディションは受けてはいたんです。でも、このときは変な緊張感もなく「私のやってきたことは、これです!」と一番、自信と気迫を持って挑めました。

—実際に入団してみてどうですか？

毎日が想像以上に刺激的です。稽古場ではいくつもの演目の稽古が同時に行われていて、それぞれの最終稽古の日には自分が関わっていない作品でも見学することができます。そこで、ほかの団員がどんな努力を積み上げてきたかを目の当たりにするたびに自分ももっと頑張ろうという気持ちになります。

稽古は厳しいです。キャストイングされていても、実力が演出家の求めるレベルに達していないと降ろされることもあるので、稽古の段階からものすごく緊張感があり、私自身、相当、気を張っています。

—初舞台は2011年の『コンタクト』。印象に残っていることは？

『コンタクト』はダンスミュージカル。そこにキャストイングされたという驚きと感動がありました。稽古中はそれこそ朝から晩まで緊張と怖さと幸せが交互に襲いかかっているような感覚。また、この作品で劇団四季はこういうところなんだと体で実感した気がします。特に先輩たちはみんなストイックに自分の役に向き合い、どんな小さな動きもおろそかにしないでひたすら練習を繰り返す。何よりみんな一つ一つの舞台を作り上げていくんだという気概に満ちていて、プロとしての姿勢、熱量に圧倒されながらも、私もかくありたいと思いました。初舞台がこの作品で良かったです。



本番で緊張するのは稽古が足りていない証拠 納得できるまで稽古する

—本番はいつも楽しそうに踊っておられます。緊張はしないタイプですか？

仲間からもよくそう言われます(笑)。演出家から求められたことができなくて落ち込むこともありますが、本当に劇団四季の舞台に演者として立てること自体が幸せ。その気持ちがストレートに踊りにも芝居にも出ているんだと思います。

本番はもちろん緊張します。でも、稽古してきた分しか人前で実力は発揮できないもの。本番で少しでも自信がないと感じたり、変に萎縮して臆したりするのは稽古が足りていない証拠だととらえ、ひたすら稽古を繰り返します。



『クレイジー・フォー・ユー』

撮影：山之上雅信

歌もダンスもセリフを届けるためのツールでしかない だからこそ、本気で挑む

— 一番で心がけていることは？

劇団四季は歴史のある劇団で、みんなで作り上げていくことを大事にしています。役作りをした上で、自分の個性を出そうとするのではなく、見え方を更に意識せず、あくまでその役を愛してもらうことに集中しています。また、私たちはロングランで何カ月以上も同じ公演に出演することがありますが、お客様にとっては1回限りの公演。「今日、うまくできなくても、明日、頑張ればいい」などと甘えず、1回1回を真剣勝負で臨むようにしています。

— 昨年、新潟公演もあった『クレイジー・フォー・ユー』では特別にお芝居にも積極的に挑まれている印象があったのですが。

今年の『クレイジー・フォー・ユー』はセリフも多く、演じるということを感じた作品でした。今年の『ウェストサイド物語』は、対立する若者グループの一つ、プアホワイト、ジェット団のリーダーの彼女という役。かなり生意気でみんなを引っ張っていくような女の子。今まで演じたことのない役柄ですが、内なる悲しみを抱える10代の女の子をセリフと歌とダンスで表現したい。そして、そんな彼女の心を観に来てくださる方々に感じ取ってもらえたら。

— 『ウェストサイド物語』も新潟公演がありますね。

私自身が新潟で劇団四季を観て感動して、憧れて今がある。今回の新潟公演に出演できるかまだわかりませんが、劇団四季の一員として、地元の人たちに舞台を観ていただけることは実に感慨深いです。作品自体、とても愛に満ちあふれていて素敵な物語ですので、多くの方に観てほしい。特に若い人たちにすすめてほしいです。

— 今後の目標を教えてください。

ダンスだけでなくやはりお芝居ももっと頑張りたい。これからも、言葉を大切に歌えて踊れる俳優を目指し日々精進します。

写真提供：劇団四季 撮影協力：府中の森芸術劇場（東京都）



『ウェストサイド物語』

撮影：下坂敦俊

Question & Answer

Q. 休日の過ごし方は？

朝起きてまず布団を干し、部屋の掃除をして町へ出て買い物したり、映画を観たり。1日を無駄に過ごしたくなくて朝からフル回転で動いています。

Q. 一番、リラックスするのはどんなとき？

自分の部屋をきれいにし、その状態で映画を観ているときですね。映画はいろいろ観ますが、特に洋画のラブコメが好きです。

Q. 好きな音楽は？

やはりミュージカルのナンバーですね！テンションを上げたい朝などに聴いています。

Q. いまハマっているものは？

料理上手になりたくて、恥ずかしいのですが、ウェブサイトを見ながらいろいろ挑戦しているところです。スーパーでは新潟県産の食材を選んで買っていますよ。

Q. ご自身の性格を自己分析すると？

自分では分からないので、まわりに聞くと「いつもここにこしていて明るい」「楽観的に見えるけれど、実はそうでもなくて真面目だね」などと言われました。血液型はB型です。



相馬 杏奈

新潟市生まれ。東京音楽大学卒業後、いくつかのミュージカルを経験し、2010年10月のオーディションで劇団四季へ入団。『コンタクト』で四季の初舞台を踏む。その後、『ウェストサイド物語』『ユタと不思議な仲間たち』『クレイジー・フォー・ユー』『夢から醒めた夢』『アイーダ』『ミュージカル異国の丘』『劇団四季FESTIVAL! 扉の向こうへ』などに出演。

～子どもとワクワク・ドキドキを～ 親子で楽しもう

コンサート

新潟セントラルフィルハーモニー管弦楽団
クラシック入門コンサート
～0歳から楽しめるコンサート～

9/3 (土) 13:30 新潟市秋葉区文化会館

芸術の秋にさきがけ、秋葉区文化会館では9月にクラシック・マンスとして、大特集!! 第一弾は新潟セントラルフィルハーモニー管弦楽団によるクラシックの入門コンサートです。

出演：磯部省吾(指揮)、小山瑠美子(うた・お話)、
新潟セントラルフィルハーモニー管弦楽団
曲目：シンコペテッド・クロック、「アルルの女」からメヌエット、
ちいさい秋みつけた、ドレミのうた 他

料 金	
全席自由	
一般	1,500円
6歳未満	500円
親子ペア券	1,000円 (ごどもは小学生以下)
主催・お問合せ	
新潟市秋葉区文化会館 0250-25-3301	

ミュージカル・演劇・舞踊

託児あり

劇団四季 原作：斎藤惇夫「冒険者たち ガンバと15ひきの仲間」

劇団四季ファミリーミュージカル ガンバの大冒険

10/29 (土) 14:00 見附市文化ホール アルカディア

11/5 (土) 14:00 柏崎市文化会館 アルフォーレ

料 金	
全席指定	3,500円 高校生以下 2,000円 ※3歳未満の入場はご遠慮ください。3歳以上要チケット。
お問合せ	
見附市文化ホール アルカディア 0258-63-5321 柏崎市文化会館 アルフォーレ 0257-21-0010	

【主催】新潟県、(公財)新潟県文化振興財団、見附市文化ホール(10/29のみ)、
柏崎市文化会館アルフォーレ(11/5のみ)、新潟県次世代の舞台芸術担い手育成事業実行委員会

美術展・写真展

噛みしめて生き物の進化
その魅力にガクガク!アゴ展

9/19 (月・祝) まで
十日町市立里山科学館 越後松之山「森の学校」キョロ口
9:00~17:00 (入館は16:30まで) 火曜休館(祝日の場合はその翌日) ただし、8月は無休



私たちの食事に欠かせない体の一部“アゴ”。生き物の世界では、アゴは食べる、闘う、アピールするなどその役割は様々です。十日町市内や世界の昆虫をはじめ、哺乳類や爬虫類といった生き物の“アゴ”に注目して、その進化、多様性、機能などから生き物たちの賑わいを感じる企画展です。



クワカブルーム

料 金	
一般	500円 小・中・高校生 300円 未就学児 無料
主催・お問合せ	
十日町市立里山科学館 越後松之山「森の学校」キョロ口 025-595-8311	

イベントなど

第9回 魚沼子ども芸能祭

11/13 (日) 10:30 魚沼市小出郷文化会館

学校や地域で取り組んでいる芸能文化や舞台芸術。魚沼地域の大切な芸能文化を受け継ぎ、守っていく子供たちが日頃の練習の成果を遺憾なく発表します。民謡、神楽、ダンスなど、幅広いジャンルで皆さまにお届けします。この機会にご家族揃ってお楽しみください。

出演：魚沼市内の小中学生



昨年の様子

料 金	
全席自由	500円(当日100円増) 中学生以下 無料
お問合せ	
魚沼市小出郷文化会館 025-792-8811 【主催】魚沼文化自由大業実行委員会	

新潟イベント情報

県内で行う様々な催物をお届けします。
会場に足を踏み入れると、そこは別世界。
是非、体感してみてください。

「新潟イベント情報」への掲載をご希望の方は、下記までご連絡ください。
次号vol.89は、11月下旬発行予定です。10/10(月・祝)までに、12月～2月の催物情報をお寄せください。

(公財)新潟県文化振興財団 事業課「カルチャーにいがた」係

TEL 025-228-3577 FAX 025-228-3818 E-mail jigyou@niigata-bunka.jp

※ **助成事業** は(公財)新潟県文化振興財団助成事業です。

※主催者等の都合により、内容等が変更になる場合があります。また、未就学児は入場不可場合があります。☺️ **託児あり** の公演には託児室を設置します。(要予約)
詳細については、各問い合わせ先へご確認ください。

ホームページ「新潟文化物語」にも各種催物情報を掲載しています。
掲載をご希望の方はホームページ上から登録をお願いします。

新潟文化物語 検索

分野別アイコン



コンサート

伝統と創造 ジャパネスクなコンサート 2016 vol.1

9/11(日)19:00 北方文化博物館

和と洋が絶妙にとけあう尺八・篠笛・箏の世界。ジョン・海山・ネブチューン作のパーカッション:竹打(たけだ)と、狩野泰一のパーカッションもご期待。日本の伝統に新しい風を吹き込んだ先駆者の演奏を、豪農の館:北方文化博物館にてご堪能下さい。

出演:ジョン・海山・ネブチューン(尺八)、狩野泰一(篠笛)、高橋理香(箏)
曲目:鶴の巢籠、朱鷺の舞、春の海、大和の曙、天之風、テイクファイブ 他(予定)



料金 全席自由 5,500円(当日300円増) 小・中学生 無料(席数限定)
※未就学児の入場はご遠慮ください。

お問合せ J-コンチェルト 090-9425-8824 北方文化博物館 025-385-2001

【主催】J-コンチェルト

イベントなど

助成事業

山奥の廃校で開かれる2夜限りのお祭りエンターテイメント ハロー!ブックスライブ2016

歌と朗読「本との手紙」 旧川茂小学校体育館

9/18(日)17:00

湯川潮音(歌手)、東野翠れん(写真家)、チャンキー松本(絵本作家)他による「本」をテーマにした音楽と映像のアート・パフォーマンス公演です。



昨年の様子

「ハローブックス芸能祭」

9/19(月・祝)17:00

佐渡の新しい音頭「ハロー佐渡島音頭」公演のほか、伝統芸能とアート・パフォーマンスが融合した、まったく新しい21世紀のお祭り型音頭エンターテイメント公演です。

料金 全席自由 18日:2,500円 19日:1,500円(当日各500円増)
両日高校生以下 無料 ※19日はオリジナル手ぬぐい付(高校生以下なし)

お問合せ ハロー!ブックス実行委員会 080-5476-9397

【主催】(公財)妙高文化振興事業団

イベントなど

助成事業

柏崎 音市場 2016

9/25(日)11:00

柏崎市街20会場+柏崎市文化会館アルフォーレ

今年で10年目となる「柏崎 音市場」。柏崎の市街地を中心にカフェやギャラリー、寺社仏閣などでジャンルを問わず、市内外アーティスト50組以上が楽しみ、さらに今年は「GAIA CUATRO」のJAPAN TOUR 2016も含むビッグスケールです。

ゲスト:GAIA CUATRO (会場/アルフォーレ)



関連イベント

音市場前夜祭
9/24(土)17:00
会場:まちから2F 料金:1,000円(ドリンク軽食付き)

料金 市内20会場 1,000円 市内20会場+アルフォーレ 2,000円
中学生以下 無料 ※アルフォーレのみのチケットはありません。

お問合せ 音市場事務局 0257-24-2235(石川薬局)

【主催】かしわざき音楽商店街

ミュージカル・演劇・舞踊

託児あり

劇団うりんこ「妥協点P」妙高公演

9/25(日)14:00 妙高市文化ホール

高校の図書準備室で巻き起こる密室群像劇!今日と未来の、自分自身との、妥協点を探す旅がはじまる。大ホールの舞台上に作った特設舞台・客席でご覧いただく小劇場スタイルの演劇公演。公演終了後には希望者による“観劇体験共有ワークショップ”を別途開催。話題作をお見逃しなく。



作・演出:柴幸男(ままとご) 舞台美術:杉原邦生(KUNIO)
出演:岩越由花、藤本伸江、牧野和彦、宮田智康、平山真由美

料金 全席自由(整理番号付) 2,000円 小・中・高校生 1,000円
※未就学児の入場はご遠慮ください。

お問合せ 妙高市文化ホール 0255-72-9411

【主催】(公財)妙高文化振興事業団

コンサート

託児あり

重量級クラシック・ボーカル・グループ イル・デーヴ

9/30(金)14:00 りゅーとびあ コンサートホール

オペラ・声楽界の第一線で活躍している売れっ子歌手と凄腕ピアニストによるコンサート。圧倒的な声量で表現力豊かに歌い上げるソロのほか、4人の作り出す極上ハーモニーは聴く人の感動を呼び起こします。

出演:望月哲也(テノール)、大槻孝志(テノール)、青山貴(バリトン)、山下浩司(バスバリトン)、河原忠之(ピアノ)

曲目:シューベルト/シルヴィアに、アイルランド民謡/タニー・ボーイ、いずみたく/見上げてごらん夜の星を 他



料金 全席指定 S席 5,000円 A席 4,000円 B席 3,000円
※未就学児の入場はご遠慮ください。

お問合せ りゅーとびあ チケット専用ダイヤル 025-224-5521

イベントなど

助成事業

たんねのあかり2016 道祖神・大和舞とともに

10/8(土)13:30~21:00 点灯式 18:15

※荒天の場合10/9に順延

柏崎市谷根(たんね)地区

柏崎市の谷根(たんね)地区全域をあかりで彩るアートイベントも今年で6回目となりました。今年の「たんねのあかり」は谷根に古くから伝わる「大和舞」と仲睦まじい「双体道祖神」に柔らかなスポットを当てます。刈り入れ後のたんねに再び水を張った「水舞台」での「大和舞」と「あかり」の共演をお楽しみください。



関連イベント

たんねバザール

場所:たんねの里グラウンド 地元特産品、オリジナルグッズなど取り揃えています。

料金 入場無料

お問合せ たんねのあかり実行委員会 0257-26-2516

イベントなど

託児あり

ドラマチック クラシック

柏崎古典フェスティバル2016 柏崎市文化会館アルフォーレ 大ホール

池辺晋一郎 音楽の不思議 「雅楽」～息吹き 堆積 一千年

柏崎初!本格的な雅楽公演を開催します。

11/1(火)19:00

演奏・舞:伶楽舎(雅楽アンサンブル)
お話:池辺晋一郎、伊左直治
<第1部>管絃(越天楽、陪臚)、舞楽(陵王)
<第2部>桜樹峨峨(池辺晋一郎)、紫御殿物語(伊左直治)



©竹原伸治

料金 全席自由 2,000円

お問合せ 柏崎市文化会館アルフォーレ 0257-21-0010

【主催】(公財)妙高文化振興事業団

柏崎古典フェスティバルでは、11月1日の「古典の日」にちなみ、様々なジャンルの古典公演事業を開催します。古典文化に親しむ機会を通して、柏崎における文化の魅力発信や地域の活性化を推進していきます。※「紫式部日記」によって源氏物語の存在が確認される最古の日付が由来となり、平成24年に制定。

重要無形民俗文化財 国指定40周年記念 綾子舞アルフォーレ公演

11/13(日)13:30

綾子舞と同じく古歌舞伎踊りの遺風を持つ国指定「小河内の鹿島踊」(東京都奥多摩町)もゲスト出演します。

出演:柏崎市綾子舞保存振興会、鹿島踊保存会

料金 全席自由 入場無料(要整理券)

※綾子舞以外の公演については未就学児の入場はご遠慮ください。

【主催】古典を活かした柏崎地域活性化事業実行委員会(柏崎市、柏崎市文化会館アルフォーレ、柏崎芸術協会、柏崎音楽協会)

アルフォーレ特選寄席 古典が今を創る 上方落語 桂文珍 独演会

11/20(日)14:00

桂文珍がたっぷり三席口演いたします! 出演:桂文珍 他



料金 全席指定 3,000円

コンサート 託児あり

プラハ国立歌劇場 オペラ ガラコンサート

11/13(日) 15:00 新潟県民会館 大ホール

プラハ国立歌劇場は1887年に「新ドイツ劇場」として創設され、一流の音楽家たちを指揮者に迎えました。2011年にプラハ国立劇場と統合され、定番オペラや名作の再演・初演に取り組んでいます。オペラの名曲が目白押しのガラコンサートをお楽しみください。

曲目：モーツァルト『魔笛』より「復讐の炎は地獄のように我が心に燃え」、ヴェルディ『椿姫』、ビゼー『カルメン』他

料 金	全席指定 S席 8,300円 A席 6,200円 (当日各500円増) ※未就学児の入場はご遠慮ください。
お問合せ	新潟県民会館 025-228-4481

【主催】NST、(公財)新潟市芸術文化振興財団

コンサート

CDデビュー記念
山宮るり子 ハープリサイタル
スパイラルーハーブで紡ぐ光と影の螺旋ー

11/20(日) 13:30 りゅーとびあ 能楽堂

新潟出身のハーピスト山宮るり子が、地元でこれまでの研鑽を披露。県内外はもちろんのこと、世界でも活躍するその技巧は注目です。華麗かつ大胆で緻密な演奏で、ハーブの魅力をお届けします。日本の伝統舞台である能楽堂と西洋の響きのマリアージュもご期待ください。

出演：山宮るり子(ハーブ)
曲目：ボエニツ／ヴィリーの死の舞踏、スメタナ／モルダウ、小西奈雅子／Dream of summer night (2016年改訂初演) 他

料 金	全席自由 2,500円
主催 お問合せ	コアコアレコード 03-6904-2033

ミュージカル・演劇・舞踊 託児あり

長岡リリックホール開館20周年記念事業
オペラ「てかがみ」

11/25(金) 19:00
11/27(日) 14:00

長岡リリックホール シアター

長岡空襲を題材としたオペラ「てかがみ」を新演出で上演します。

芸術監督・作曲：池辺晋一郎 台本：平石耕一 指揮：牧村邦彦 演出：西川信廣
出演：五十嵐郊味、内山信吾、佐藤晶子、鈴木愛美 他
合唱：リリックてかがみ合唱団、長岡少年少女合唱団
演奏：リリックてかがみアンサンブル(大関博明(バイオリン)、片野大輔(チェロ) 他)

料 金	全席指定 4,000円 ※未就学児の入場はご遠慮ください。
主催 お問合せ	(公財)長岡市芸術文化振興財団 0258-29-7715

コンサート

第32回ブルーノートジャズオーケストラ コンサート
「和・ジャズ・ヴォーカル」

11/26(土) 18:30
長岡リリックホール コンサートホール

長岡市に拠点を置く市民によって結成された本格派アマチュアジャズバンド、ブルーノートジャズオーケストラ。今年はゲストヴォーカルにCharitoを迎え、より一層迫力あるジャズサウンドをお届けします。

出演：ブルーノートジャズオーケストラ
ゲスト：Charito(ヴォーカル)
曲目：Nica's Dream, Caravan, Sir Duke 他(予定)

料 金	全席自由 1,000円(当日200円増) 中学生以下 無料
お問合せ	音食(ねじき) 0258-36-7655(荒木)

【主催】ブルーノートジャズオーケストラ

美術展・写真展

岩合光昭写真展 ネコライオン

9/25(日)まで 長岡市栃尾美術館
9:00~17:00 (券売は16:30まで) 月曜休館 ただし、9/19は開館

世界を舞台に活躍する動物写真家・岩合光昭氏が捉えた人間と共生するネコ、野生に生きるライオンを約180点の作品で展覧します。

関連イベント
ネコ・ライオンの立体おめんをつくろう!
9/11(日) 14:00~15:30 定員16名(先着)
講師：ひろかわかよ氏 参加費：500円

とちびまつり
9/3(土)、9/4(日) 10:00~16:00
アトリエで市内クラフト作家のワークショップやミニ喫茶をお楽しみください!

料 金	一般 500円 高校・大学生 250円 中学生以下 無料
主催 お問合せ	長岡市栃尾美術館 0258-53-6300

高畑・宮崎アニメの秘密がわかる
スタジオジブリ・レイアウト展

10/10(月・祝)まで 新潟県立万代島美術館
10:00~18:00 (券売は17:30まで) 8/29、9/26休館

「風の谷のナウシカ」から「思い出のマーニー」まで、宮崎監督直筆のレイアウトを中心に高畑・宮崎監督がジブリ以前に手掛けた作品も含め、およそ1,300点のレイアウトを公開します。ジブリ作品の魅力を支える根幹ともいえる、とっておきの「秘密」にふれる展覧会です。

料 金	一般 1,200円 高校・大学生 1,000円 中学生以下 無料
主催 お問合せ	新潟県立万代島美術館 025-290-6655

**皇妃エリザベートが愛したドナウの至宝
ヘレンド展**

8/30(火)~10/30(日) 新潟市新津美術館
10:00~17:00 (券売は16:30まで)
月曜休館(祝日の場合はその翌日) ただし、9/20、10/24は開館

金にも値するという意味で、ハンガリーの「ホワイト・ゴールド」と呼ばれるヘレンド。ハンガリーのヘレンドという小さな村で創り出される手作りの陶磁器は、200年にもわたり海を越えて陶磁器の最高峰として代々人々を魅了し続けています。

関連イベント
記念講演会「ヘレンド芸術とシノワズリー」
9/4(日) 14:00~15:30 定員80名(当日先着順)
講師：山田哲朗(本展監修者、大阪市立東洋陶磁美術館長)

**大人のための読み聞かせ
トルティネット〜東欧の絵本と寓話〜**
9/25(日) 13:30~15:00 定員80名(当日先着順)
お話と映像：新潟美術館ボランティア

料 金	一般 1,000円 高校・大学生 800円 中学生以下 無料
主催 お問合せ	新潟市新津美術館 0250-25-1300

**古代オリエント美術の愉しみ
—MIHO MUSEUM
コレクション・エジプトから中国まで—**

9/17(土)~11/6(日) 新潟県立歴史博物館
9:30~17:00 (券売は16:30まで) 月曜休館(祝日の場合はその翌日)

古代オリエントの美術は、何世代にも渡って受け継がれ、異文化と交流することで洗練されていきました。こうして生まれた造形物には、美しいものを希求する心が通底しています。本展では、2017年に開館20周年を迎えるMIHO MUSEUM(滋賀県甲賀市)の所蔵する資料から厳選した65点によって古代オリエント・中国の美術を紹介します。

関連イベント
講演会「古代美術の愉しみ」
9/18(日) 13:30~15:00 講堂 定員150名(要申込)
講師：稲垣肇氏(MIHO MUSEUM学芸員)

料 金	一般 820円 高校・大学生 500円 中学生以下 無料
主催 お問合せ	新潟県立歴史博物館 0258-47-6130

大収蔵品展 総合博物館Final

9/17(土)~11/6(日) 上越市立総合博物館
9:00~17:00 月曜休館(祝日の場合はその翌日) ただし、9/20は開館

昭和47年に開館以来、長きに渡って地域の歴史や文化、人物の掘り起こしなどに力を入れてきた上越市立総合博物館。その役割に一端幕を下ろし、形を変えてリニューアルされることとなりました。その締めくくりとして、44年間の歴史の中で収集してきた貴重な資料を一堂に紹介します。

関連イベント
館外専門家による展示説明会
10/29(土) 14:00 参加無料(要入館料)

料 金	一般 300円 小・中・高校生 150円 幼児及び上越市内の小・中学生 無料
主催 お問合せ	上越市立総合博物館 025-524-3120

**ボストン美術館 ヴェネツィア展
魅惑の都市の500年**

9/10(土)~11/27(日) 新潟県立近代美術館
9:00~17:00 (券売は16:30まで) 月曜休館(祝日の場合はその翌日) ただし、9/20は開館

ヴェネツィアは中世以来、東西貿易の一大拠点として栄え、15世紀に絶頂期を迎えました。本展ではルネサンス絵画をはじめとして、19世紀の印象派の画家たち、そして現代にいたるまでの約500年に及ぶヴェネツィアの美の精髓をボストン美術館の所蔵品約130点でご紹介します。

料 金	一般 1,200円 高校・大学生 1,000円 中学生以下 無料
主催 お問合せ	新潟県立近代美術館 0258-28-4111



「風の谷のナウシカ」から「思い出のマーニー」まで、宮崎監督直筆のレイアウトを中心に高畑・宮崎監督がジブリ以前に手掛けた作品も含め、およそ1,300点のレイアウトを公開します。ジブリ作品の魅力を支える根幹ともいえる、とっておきの「秘密」にふれる展覧会です。

「風の谷のナウシカ」から「思い出のマーニー」まで、宮崎監督直筆のレイアウトを中心に高畑・宮崎監督がジブリ以前に手掛けた作品も含め、およそ1,300点のレイアウトを公開します。ジブリ作品の魅力を支える根幹ともいえる、とっておきの「秘密」にふれる展覧会です。

昭和47年に開館以来、長きに渡って地域の歴史や文化、人物の掘り起こしなどに力を入れてきた上越市立総合博物館。その役割に一端幕を下ろし、形を変えてリニューアルされることとなりました。その締めくくりとして、44年間の歴史の中で収集してきた貴重な資料を一堂に紹介します。

ヴェネツィアは中世以来、東西貿易の一大拠点として栄え、15世紀に絶頂期を迎えました。本展ではルネサンス絵画をはじめとして、19世紀の印象派の画家たち、そして現代にいたるまでの約500年に及ぶヴェネツィアの美の精髓をボストン美術館の所蔵品約130点でご紹介します。

新潟県次世代の舞台芸術 担い手育成事業

県内の文化施設等からなる「次世代の舞台芸術担い手育成事業実行委員会」では、子どもたちが優れた文化芸術に気軽に触れることができる機会を積極的に提供し、次世代の舞台芸術を担う人材を育成するため、県内各地で公演を実施します。この事業には文化庁の「文化芸術による地域活性化・国際発信推進事業」を活用しています。

※P4の劇団四季ファミリーミュージカル『ガンバの大冒険』も対象事業です。

<参加団体>

糸魚川市民会館・魚沼市小出郷文化会館・柏崎文化会館アルフォーレ・上越文化会館・新潟市北区文化会館・りゅーとびあ新潟市民芸術文化会館・新潟県・(公財)新潟県文化振興財団

コンサート

金管5重奏団 N響メンバーによるブラス・クインテット

9/3(土) 13:30 魚沼市小出郷文化会館
9/4(日) 13:00 糸魚川市民会館

NHK交響楽団トップメンバーによる華やかで躍動感溢れるブラス・アンサンブル。クラシックの名曲から映画音楽、ジャズまで楽しいトークと共に楽しみください。

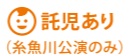
出演:菊本和昭(トランペット・首席)、井川明彦(トランペット)、木川博史(ホルン)、池上巨(トロンボーン)、池田幸広(チューバ)
曲目:ヘンデル/組曲「王宮の花火の音楽」より「歓喜」、ボイス/ウィリアム・ボイス組曲、エwald/金管五重奏曲 第1番、ガーシュウィン/3つのプレリュード 他



菊本和昭
(トランペット)

料金 全席自由 2,000円(当日500円増)
中学生以下 無料(要学生チケット) ※未就学児の入場はご遠慮ください。

お問合せ 魚沼市小出郷文化会館 025-792-8811 糸魚川市民会館 025-552-5900



コンサート

0歳児から大人まで楽しめる オーケストラ・コンサート

11/5(土) 13:30 上越文化会館 大ホール

初めてのオーケストラとの出会いの場を創造した特別企画。演奏を務めるのは、地元音楽を長年支えてきた上越交響楽団。生のクラシック音楽の素晴らしさを体験ください。

出演:長谷川正規(指揮)、三溝健一(コンサートマスター)、上越交響楽団
曲目:歌劇「カルメン」より第一幕への前奏曲、威风堂々第一番 他



料金 全席自由 500円 高校生以下 無料

お問合せ 上越文化会館 025-522-8800

ミュージカル・演劇・舞踊 託児あり 9/10(土)発売開始

東京バレエ団「くるみ割り人形」全2幕

12/23(金・祝) 14:00
柏崎市文化会館アルフォーレ 大ホール

チャイコフスキーの3大バレエの1つで、クリスマス・イヴを舞台とした年末の風物詩とも言える本作品を、オーケストラの生演奏と共にお届けします! 13:15からの指揮者やコンサートマスターによるプレトークもお楽しみください。
出演:クララ/河谷まりあ、くるみ割り王子/柄本弾、東京バレエ団、井田勝大(指揮)、東京シティフィルハーモニック管弦楽団(演奏)



Photo:Kiyonori Hasegawa

料金 全席指定 S席/一般 6,000円 高校生以下 4,000円
A席/一般 4,500円 高校生以下 2,500円 ※未就学児の入場はご遠慮ください。

お問合せ 柏崎市文化会館アルフォーレ 0257-21-0010

古典・伝統

歌舞伎の基礎知識をわかりやすく解説します! はじめてのKABUKI

9/10(土) 14:00 南魚沼市民会館 多目的ホール
9/11(日) 14:00 津南町公民館(文化センター)

アナウンサー 葛西聖司さんの解説による「はじめてのKABUKI」。歌舞伎の立ち回りが体験できるワークショップや牛若丸と弁慶の出会いを描いた秀作「五条橋」を上演します。

第一部:歌舞伎の見方 解説:葛西聖司
第二部:歌舞伎ワークショップ 解説:花柳辰蔵
第三部:歌舞伎舞踊「五条橋」 弁慶:花柳琴臣/牛若丸:花柳夢喜龍



葛西聖司

料金 全席自由 1,000円 中学生以下 無料(要学生チケット)
※未就学児の入場はご遠慮ください。

お問合せ 南魚沼市民会館 025-773-5500 津南町公民館 025-765-3134

ミュージカル・演劇・舞踊

7月中旬発売予定

キッズ・ミュージカルプロジェクト 魚沼産☆夢ひかり 第11回本公演「心結び」

9/18(日) 11:00
9/19(月・祝) 11:00
魚沼市小出郷文化会館

新潟県の魚沼地域の子供達で結成されている魚沼産☆夢ひかりの本公演! プロの講師陣・スタッフを揃えた本格的ミュージカルです。今年は震災復興をテーマにした夢ひかりオリジナルストーリーを、子ども達が精一杯演じます。

演出・脚本:小口真澄
出演:魚沼産☆夢ひかりの子ども達



平成27年9月「オズの魔法使い」公演

料金 全席自由 1,500円(当日300円増)
高校生以下 1,000円(当日200円増) ※障がい者手帳をお持ちの方同額

お問合せ 魚沼市小出郷文化会館 025-792-8811

コンサート

シエナの響きシリーズ (シエナ・フォレスト、シエナ・サクソ、シエナ・ブラス5)

10/30(日)・12/3(土)・2017/2/4(土)
各13:30 上越文化会館 大ホール

日本で一番人気の吹奏楽プロ集団、シエナ・ウインド・オーケストラの小編成コンサート。木管、サクソ、金管のそれぞれの響きを身近に味わい、その後は小中、高次の2グループに分かれてワークショップを実施。テクニックを高める事で音楽の面白さをより感じ、地域全体の音楽が華やぐことが期待されます。

出演:シエナ・ウインド・オーケストラメンバー



料金 全席自由 1,000円
※未就学児の入場はご遠慮ください。

お問合せ 上越文化会館 025-522-8800

古典・伝統

身体丸ごと感じる太鼓の響き! 鼓童交流公演

9/19(月・祝) 14:00 湯沢町公民館
9/24(土) 14:00 小千谷市民会館

太鼓って楽しい! 観て、聴いて、叩いて、太鼓の魅力を感じよう! 太鼓体験や演奏者の語りや、迫力とエネルギー溢る鼓童をより身近に感じる舞台。



©岡本隆史

料金 全席自由 2,000円(当日500円増)
中学生以下 無料(要学生チケット) ※未就学児の入場はご遠慮ください。

お問合せ 湯沢町公民館 025-784-2460 小千谷市民会館 0258-82-9111

コンサート

託児あり 10/15(土)発売開始
(上越公演のみ)

これが聴きたい!アンコール「超名曲」ベスト20! チェコ・フィル・ストリング・カルテット

2017/1/28(土) 14:00 上越文化会館 大ホール
1/29(日) 14:00 新発田市民文化会館

名門チェコ・フィルの名手たちが贈る幸せいっぱいひと時! 誰もが知っているクラシックの名曲から、タンゴ、デューク・エリントン、ビートルズまで永遠に色褪せることない、珠玉の名曲をお楽しみください。

曲目:G線上のアリア、ユモレスク、乙女の祈り、ドナウ川のさざ波、ミッシェル、ラ・クンバルシータ、A列車で行こう 他



料金 全席自由 2,000円(当日500円増)
中学生以下 無料(要学生チケット) ※未就学児の入場はご遠慮ください。

お問合せ 上越文化会館 025-522-8800 新発田市民文化会館 0254-26-1576

ミュージカル・演劇・舞踊

りゅーとびあ演劇スタジオ キッズ・コース APRICOT 2017春季公演

2017/3/18(土)・3/19(日) 時間未定
新潟市江南区文化会館 音楽演劇ホール

APRICOTメンバーが演出を担当し、子どもならではのアイデアとユーモアで創作した作品を上演します。新潟市江南区文化会館を会場に、エネルギーあふれるお芝居をお楽しみください。

演出・出演:APRICOT
監修:菅部博司、戸中三太、内堀照子、西潟明美



2016春季公演「砂の妖精」

料金 入場無料(要申込)
※4歳未満の入場はご遠慮ください。

お問合せ りゅーとびあ 025-224-7000

ミュージカル・演劇・舞踊

託児あり

いといがわステージライブ・卒業公演(仮称)

2017/3/19(日) 時間未定
青海総合文化会館 大ホール

ひすいジュニア合唱団・劇団きららキッズ、舞台芸術集団シーシャイン、さらに公募の市民による「ジュニア、ミュージカル・オペラ」と「演劇舞台総合技術体験」の2つのワークショップを開催し、その集大成として、「ミュージカル」と「演劇」それぞれの舞台発表を行い、今後の活動に繋げて行きます。

出演:ワークショップ参加者
演目:ミュージカル「サウンドオブミュージック」、創作劇「どこに居たとて」



料金 全席自由 500円(協力金) 高校生以下 無料(要入場整理券)
※未就学児の入場はご遠慮ください。

お問合せ 糸魚川市民会館 025-552-5900

ご寄付をお願いします

皆様のご支援が、これからの新潟の文化・芸術振興の大きな力となります。



新潟文化情報誌「カルチャーにいがた」を年4回発行しています。



新潟県民が優れた文化芸術に気軽に触れることのできる機会を提供します。



県内の文化団体等の事業を支援しています。

財団では、昭和56年(1981年)の設立以来、県民の皆様一人ひとりが心の豊かさを実感できるよう、県民の皆様が自主的に取り組まれる文化活動を支援させていただき、事業や県民の皆様が優れた文化・芸術に触れていただく機会を提供する事業などを行ってまいりました。今後も安定的に県内における文化活動の支援に取り組むため、このたび、多くの文化・芸術を愛する皆様からご支援をいただく寄付制度を創設致しました。何卒、財団の事業趣旨にご理解とご賛同をいただき、ご寄付をお寄せいただけますようお願い申し上げます。

なお、財団は「特定公益増進法人」となっており、ご寄付をお寄せいただいた個人、法人の皆様には税制優遇措置が適用されます。

寄付金・職員募集についてのお問い合わせ

財団事務局総務課

TEL 025-228-3700

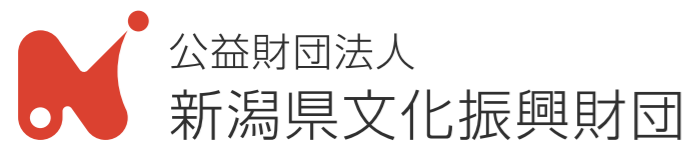
WEB <http://www.niigata-bunka.jp>

財団職員を募集します

事務局事業課職員(事業課長)を募集します。詳細は財団ホームページをご覧ください。

ロゴマークが決定しました!

財団が設立35周年を迎えたことを機に、これまで以上に財団を身近に感じてもらえるような、親しみの持てるロゴマークを募集したところ、多数のご応募をいただきました。誠に有難うございました。審査委員による厳正な審査の結果、村井孝昭さん(新潟市在住)がデザインした下記の作品を、ロゴマークとして採用することに決定しました。今後、ホームページやカルチャーにいがたを始めとした、財団の広報物などに活用させていただきます。



公益財団法人

新潟県文化振興財団

作品の説明

新潟の頭文字「N」をモチーフに柔らかな曲線をつないでデザインしました。多様なスタイルや発想を持った県民が文化発信のもとに集まり、活発で有機的な交流からいきいきとした文化の創造と発信が行われていく様子を想起させるようなデザインとしました。左下の白い円は、県民の財産である伝統文化を「たまご」として表したものです。県民の有機的な文化交流を表すロゴの内側に配置しています。新しく創造される文化を右上の飛び出した円として配置することで、伝統文化を守り伝えることと、新しい文化発信が県民の交流によって活発に行われていけば、という願いをこめています。色は県の鳥である朱鷺をイメージして朱色を採用しました。県民の文化活動が朱鷺のように羽ばたき、新潟県文化振興財団が朱鷺のように愛される存在であり続けることを願ってデザインしました。



最優秀賞
村井 孝昭さん
(新潟市在住・自営業)

Culture Niigata

●発行回数 年4回(5月、8月、11月、2月)

●発行部数 15,000部

●配布先 市町村、公民館、文化施設、金融機関、大学等

●発行 公益財団法人 新潟県文化振興財団

TEL 025-228-3577 FAX 025-228-3818

E-mail jigyouniigata-bunka.jp WEB <http://www.niigata-bunka.jp>

Address 〒951-8132 新潟市中央区一番堀通町3-13

「カルチャーにいがた」送付について

「カルチャーにいがた」をご希望の方には郵送料実費にてお送りしています。住所、氏名、希望する部数を明記の上、返信用切手(140円/1冊)を添えて、新潟県文化振興財団までお申し込みください。複数冊ご希望の場合はお問い合わせください。

— シリーズ —

URAKATA

裏を語る

舞台裏から、芸術の新たな魅力を発信!



劇団四季 音響チーフ
原 英夫

舞台を制作しているのはアーティストだけではない。音楽・文化・芸術をもっと身近に感じてもらうためここでは裏方で活躍する人々を紹介。第五回は「音響」の仕事について劇団四季の原英夫さんに話を聞いた。

劇場に合わせて最適な音を見つけ出す

東京・府中の森芸術劇場を皮切りにミュージカル『ウェストサイド物語』新演出版の全国公演が6月25日にスタートした。原英夫さんは音響の現場総責任者としてその前日、現地入りし、入念に最終リハーサルを行っていた。「各地の公演、特にツアー公演では毎回、劇場が変わります。その状況に合わせて最適なチューニングを見つけなければいけない。この調整が意外に難しいんです」

音響の仕事は台本のセリフや歌、音楽、効果音を最適なタイミング、最適なボリュームで流すこと。舞台の雰囲気や音を印象づける、いわば、音の演出家だ。「音響の使命として最も大事なことは、俳優のセリフが一番後ろのお客様にも明瞭に聞こえるようにすること。あくまでメインはセリフと歌詞であり、音楽や効果音はおかずのような添え物。台本を伝えるために音楽や効果音の力を借りているだけなんです。そこをしっかりと踏まえていないと、作品の内容をお客様に届けることはできないんです」

ところが、当日の天候や劇場の広さ、来場者数によって音の伝わり方がガラッと変わる。原さんたち音響スタッフは、その変化を敏感に感じ取り、機材で調整して対応していく。例えば、スピーカーの向きや角度も劇場ごとにかなり変えているそうだ。「昼と夜でもアンプの温まり具合が違うので音に差が出てく

る。とはいえ、全く同じ音を出すのは難しいので、できる限り同じ音になるよう最善を尽くしています」

俳優によって声量も声の大きさ、トーンも違う。どの俳優がどのようにセリフを言うのか。一人ひとりの特徴、癖は稽古場での台本読みの段階から立ち会ってひたすら探り、見抜くことも音響の大切な仕事だ。「本番のとき、僕らは客席に設置したブースから舞台を見つめ、俳優の呼吸を感じながら、自分も演じているような心持ちで音量を調整していきます。セリフと共に感動を伝えるため、多少デフォルメして音量を上げたり。そのあたりのさじ加減がつかめてくるとこの仕事もさらに面白くなってきます」

ただ単に音量を上げて、明瞭度が上がるわけではないので、裏方という立場を踏まえつつ、俳優にアドバイスすることもあるそうだ。「これもひとえにお客様にセリフをしっかりと伝えるためです」

音響は時間との闘いの世界

原さんが劇団四季に入団したのは31年前。高校時代からバンド活動に夢中だった。担当はドラム。大学時代にはレコードデビューの話が舞い込んだが、直前で白紙に。余儀なく就職活動を始めた矢先、新聞で劇団四季の求人広告を見つける。音楽をやっていたこともあり募集職種の



後ろの席までちゃんとセリフを届ける それが「音響」最大の使命

『ウェストサイド物語』公演前日に最終チェックを行っている様子。府中の森芸術劇場

「音響」が妙に気になった。

「とはいえ、劇団四季については『キャッツ』を上演しているところだな、ぐらいの予備知識しかなかったので、まずは舞台を観ておこうと思って、その時、日生劇場で上演されていた『ユタと不思議な仲間たち』を観たんです。音楽再生にこれほど手をかけ、丁寧に作り上げている劇団があるんだと感激し、入団を決めました」

最初に携わったのはファミリーミュージカル『ガンバの大冒険』。稽古場で先輩たちを見て音響がどんな仕事をひと通り知った。しかし、新人研修はそこまで。次に担当することになったファミリーミュージカル『エルコスの祈り』は、稽古までは先輩がついて教えてくれたものの、全国公演が始まると、始めの一週間程度は先輩がついてくれたが、その後、音響スタッフは原さんただ一人。

「独り立ちの最初が函館公演で。人生初の北海道だったのですが全然うれしくなかった。何かあったらどうしようと不安だらけでした」

本番中の段取りはある程度、稽古場で決められる。しかし全国公演の場合、当日の機材の搬入、公演会場のキャパに合わせての音の調整、最後の撤収作業まで限られた時間で、たった一人で済まさなければならない。

「とにかく時間との闘いでした。どうしたら無駄な時間を作らずに機材を仕込めるか、アルバイトにいかにか要領よく動いてもらうかを必死に考えていました。にもかかわらず、まるで僕の足を引っ張るかのように自分の扱いが悪いた

め、機材が壊れたりして。途方に暮れる毎日でした」

しかし、あの過酷な経験があったからこそ、今の自分があると原さんは言う。

「現場での段取り、人の使い方などが自然と身につきました。また実際にお客様からの感想を直接聞くことができ、それを日々のオペレーションにも活かすことができました」

大事なものは 音楽的素養と読解力

現在は音響責任者として後進を育てる立場にある原さん。この仕事をを目指す若い人には「読解力と音楽的素養を鍛えなさい」とアドバイスしたいと言う。

「何はともあれ読解力、すなわち台本を読み込む力が大事です。なぜここでこういう歌や音楽が流れるのか、その意味を台本からつかむセンスがないと難しい。俳優が怒鳴るシーンであまりに声が大きいからといって音を下げたスタッフがいて、注意したことがあります。怒っているんだから、多少音が大きくても劇場内に響いた方が迫力も出て効果的なんだ、と。また、悲しい気持ちから歌が始まる場合は、イントロの音量は小さめのこれぐらいからが適しているよとアドバイスをしたりしています。台本が読み込めるようになると、自分の音の基準が持てるようになってきます。その感覚を備えた音響スタッフを育てて

いくことは私の目標でもあります」

また、音楽的素養も重要な資質。「例えば、『ウェストサイド物語』はクラシック、ジャズなど様々なジャンルの音楽が使われているが、クラシックのダイナミックさ、ジャズの繊細さ、他にもロックならではの音量感などを感覚としてつかんでおかないとより効果的な音が出せない。そういった意味でも音響を目指すなら、いろいろなジャンルの音楽を聴いておいて欲しいです」

そして、それ以上に大事なものは感動する力。原さんは何十回、何百回と関わってきた作品でも、音響としてブースに立ち、舞台を観るたびに鳥肌が立つほど、感動するそう。そんな原さんがもたらす音だからこそ、私たちは劇団四季の舞台に心底酔いしれるのだろう。

次号-シリーズ-URAKATAは大道具にスポットをあてます。



劇団四季 音響チーフ 原 英夫

1959年東京都生まれ。慶應義塾大学商学部卒業。1985年、劇団四季へ入団し、10年間は音響スタッフとして様々な現場で活躍。以後は音響チーフとして現場で音響全体の管理、人材育成に携わる。総責任者なので本番や稽古などいくつもの現場を兼務することも多い。高校、大学とバンドでドラムを担当。「ドラムは自ら演奏しながらも常に全体の音を聴くことが求められるポジション。今の音響の仕事に通じるものがあります」

公演情報

劇団四季 ファミリーミュージカル

ガンバの大冒険

パワフルな歌とダンス、手に汗握る大冒険。ガンバと出会ったら、きっと強く、優しくなる。家族でワクワクしながら楽しんで、子どもたちが心豊かに成長できる。そんなチャンスがやってきます！劇団四季ファミリーミュージカル『ガンバの大冒険』。過去に何度もアニメや舞台になり、大人たちにも子どもたちにも愛されてきた名作を、躍動感たっぷりのダンスや、心が沸き立つような音楽とともにお届けします。仲間の危機を救おうと自ら立ち上がった町ネズミのガンバ。大海原を越えて進んだその先に待っている、勇気、友情、優しさ、絆。人生の宝物になりそうなことが、ギュツと詰まったミュージカルです！

10月29日(土) 14:00開演 見附市文化ホール アルカディア 大ホール

11月5日(土) 14:00開演 柏崎市文化会館 アルフォーレ 大ホール

料金/全席指定:3,500円 高校生以下:2,000円 ※3歳未満入場不可、3歳以上要チケット。
お問合せ/見附市文化ホールアルカディア 0258-63-5321 柏崎市文化会館アルフォーレ 0257-21-0010



撮影：阿部章仁